

平成 26 年度版

米原市環境報告書



米原市

目次

第1章 環境の現状

- 1 水質.....p. 1
- 2 廃棄物.....p.11
 - 1)米原市のごみ処理量実績.....p.11
 - 2)米原市コンポストセンター.....p.13

第2章 米原市の環境施策の取組状況

- 1 環境基本計画重点プロジェクト取組状況.....p.15
- 2 米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧.....p.19
- 3 米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況.....p.23

第1章 環境の現状

1 水質

米原市は、豊かな森や山に蓄えられた水が市内のいたるところで湧き出し、姉川や天野川などの清流となって琵琶湖へと注ぐ水源の里です。滋賀県で唯一「名水百選」と「平成の名水百選」の両方が存在し、さらには、「水の郷百選」にも選ばれた水をめぐる歴史と文化に育まれたまちです。

この美しい水環境を保全するため、市では毎年水質調査を実施しており、有害な物質の検出はありません。高い数値を示している大腸菌群数は、し尿汚染の指標として用いられ、一般に人畜の腸管内にも常時存在し、動物の糞便由来以外に、土壌・植物等自然界に由来するものも多くあります。大腸菌群そのものが直ちに衛生上有害というわけではありませんが、数値の動向に注視していく必要があります。

水質調査の実施状況



(年1回)

- 地下水水質調査 29箇所
- 河川水質調査 13箇所
- 湧水調査 16箇所
- 土壌調査 6箇所

※河川水質調査の天野川については年2回×2か所実施
※年度により、調査か所数に変動があります。上記は平成26年度の調査か所数です。

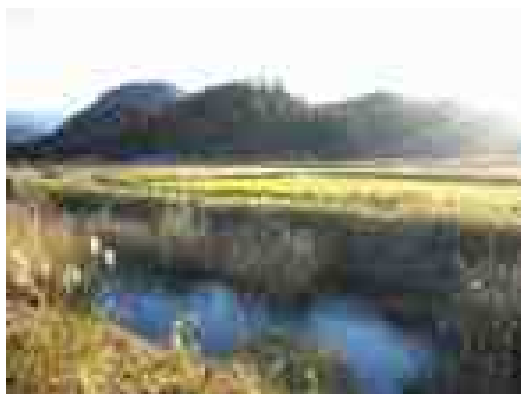
- | | |
|--------|------------|
| ①政所川 | ⑧承水溝 |
| ②出川 | ⑨磯川 |
| ③黒田川 | ⑩天野川上流 |
| ④真経堂川 | ⑪天野川下流 |
| ⑤土川 | ⑫泉神社湧水 |
| ⑥琵琶田川 | ⑬居醒の清水(湧水) |
| ⑦長老墓地川 | |

① 政所川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.2	7.5	7.1	7.0	7.4	7.0	7.3	7.6	7.5	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.6	1.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.7	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.0	2.3	1.8	1.7	1.4	1.0	1.7	2.8	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	1 未満	1	1	3	1	1 未満	2	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	35000	9200	35000	4900	3300	22000	3500	680	110	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

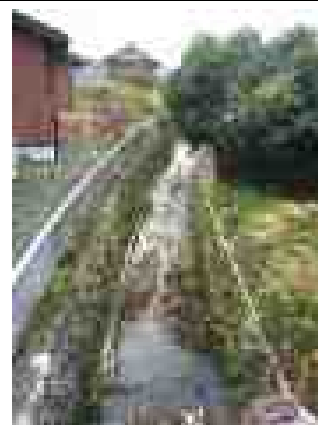


② 出川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.4	7.8	8.2	8.7	8.9	8.2	8.0	8.5	8.0	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.2 未満	1.3	1.1	0.7	1.0	0.8	1.0	0.6	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.6	2.6	2.3	2.2	2.6	7.0	2.8	2.0	—
浮遊物質(SS)	mg/L	6	10	14	7	7	7	5	5	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	16000	9200	54000	1700	1700	92000	720	270	490	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

③ 黒田川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.6	7.7	7.6	7.7	7.8	7.7	7.8	7.9	7.7	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	0.5	1.7	0.8	0.5 未満	0.8	0.8	0.9	0.5 未満	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.5	3.0	2.5	2.2	2.0	2.9	1.7	2.8	1.9	—
浮遊物質(SS)	mg/L	4	3	3	2	3	5	2	2	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	92,000	9,200	11,000	3,300	4,900	24,000	9,200	1,400	78	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



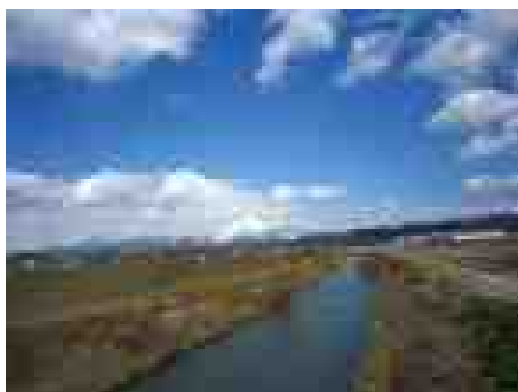
黒田川



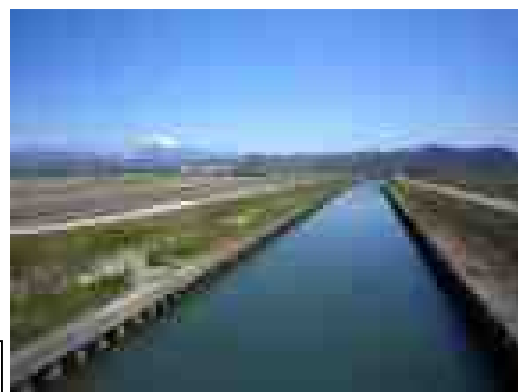
真経堂川

④ 真経堂川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	8.1	7.6	8.2	8.2	8.2	8.4	7.9	7.6	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.7	0.7	2.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.0	0.5 未満	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.9	3.4	4.2	3.0	2.9	2.7	2.4	3.7	2.4	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	5	4	5	16	4	1 未満	1	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9,200	16,000 以上	54,000	4,900	1,400	24,000	3,500	113.3	45	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.002	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

⑤ 土川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.2	8.2	8.2	8.1	7.6	8.0	8.3	7.6	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	1.6	2.0	1.1	0.6	1.2	1.1	1.1	1.4	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.2	4.2	4.0	3.0	4.8	3.9	3.1	4.1	3.2	—
浮遊物質(SS)	mg/L	5	4	2	3	2	4	2	2	2.3	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	17000	5400	13000	490	1300	24000	430	1400	490	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



土川



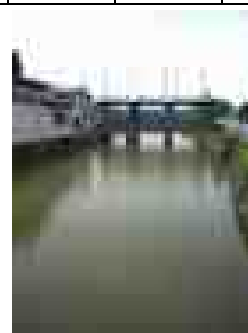
琵琶田川

⑥ 琵琶田川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.6	7.7	8.3	7.9	7.6	7.9	7.9	7.5	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	1.3	1.4	0.8	0.5	1.1	0.8	0.9	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	3.0	3.6	2.0	3.0	3.2	1.9	3.0	2.4	—
浮遊物質(SS)	mg/L	7	9	8	2	6	9	5	4	1.1	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.6	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	24000	16000 以上	3300	700	680	35000	3500	1700	270	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.02	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

⑦ 長老墓地川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	8.0	8.1	8.6	8.6	8.0	8.0	8.4	7.8	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.3	0.6	1.7	1.0	0.7	1.2	0.9	0.9	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.9	3.8	4.2	2.7	3.8	3.0	2.2	3.9	2.6	—
浮遊物質(SS)	mg/L	7	10	1	3	3	5	6	9	1.1	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	92000	16000 以上	35000	2300	1700	92000	5400	2700	230	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



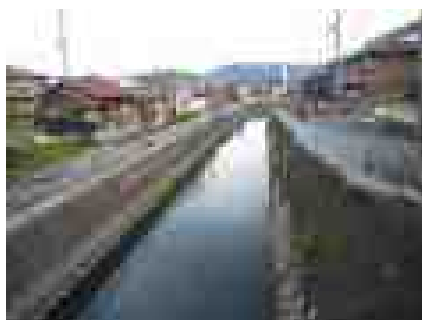
長老墓地川



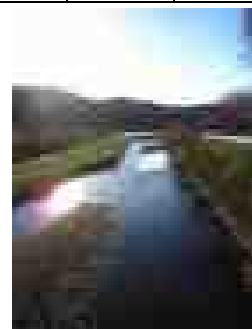
承水溝

⑧ 承水溝	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—				7.6	8.3	7.3	8.1	7.8	7.5	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L				3.9	1.7	2.0	4.1	3.7	3.2	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L				8.6	5.3	5.8	5.5	7.7	7.6	—
浮遊物質(SS)	mg/L				4	8	5	14	16	4.6	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L				0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL				460	3300	35000	5400	7000	270	50
ガミウム及びその化合物	mg/L				0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L				0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L				0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L				0.005 未満	0.005 未満	0.004	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L				0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L				0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
全窒素	mg/L					1.0	1.1	0.42	1.3	1.7	—
全リン	mg/L					0.10	0.084	0.06	0.14	0.090	—
クロロフィル a	mg/L				6.2	24	5.3	0.065	24	5.5	—

⑨ 磯川	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—				7.3	7.5	7.5	7.9	7.6	7.7	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L				1.2	0.9	3.0	2.1	2.3	1.2	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L				6.7	6.8	8.5	6.4	9.4	5.4	—
浮遊物質(SS)	mg/L				2	3	12	7	15	2.0	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L				0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL				310	78	35000	16000 以上	14000	220	50
カドミウム及びその化合物	mg/L				0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L				0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L				0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L				0.005 未満	0.005 未満	0.003	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L				0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L				0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
全窒素	mg/L					1.8	1.1	0.55	1.4	0.92	—
全燐	mg/L					0.08	0.10	0.05 未満	0.15	0.054	—
クロロフィル a	mg/L				2.0 未満	2.0 未満	9.1	0.040	7.8	2.6	—



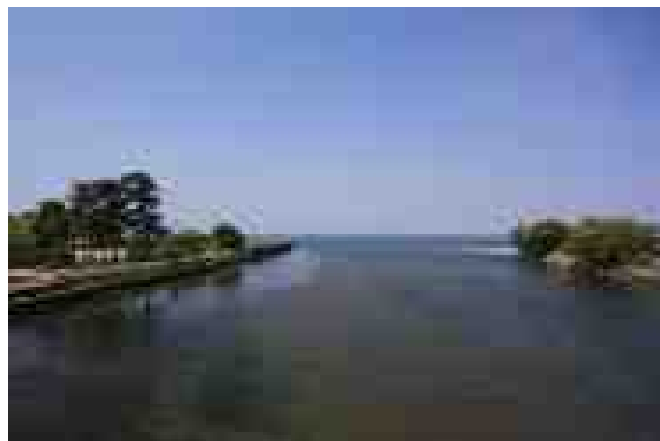
磯川



天野川上流

⑩ 天野川上流	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.9	7.6	7.8	7.9	7.9	8.0	8.0	8.1	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.4	1.4	1.8	1.0	0.5	0.9	1.0	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.0	3.0	3.4	3.6	4.1	3.2	2.7	2.9	2.7	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	1 未満	3	4	5	3	2	1 未満	2	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.7	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	16000 以上	13000	3300	790	22000	5400	1400	140	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.02	0.1 未満	0.1 未満	—

⑪ 天野川下流	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.5	8.4	8.6	7.9	8.0	8.3	8.4	8.3	8.2	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.0	1.4	1.8	1.4	0.5 未満	1.1	1.0	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.7	1.4	2.1	2.8	2.9	1.7	1.4	2.5	1.7	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	1	1	3	4	2	2	1	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	2	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	210	4600	490	490	3500	45	2700	270	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.0	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.0	0.1 未満	0.1 未満	—



天野川下流

※承水溝、磯川は平成 21 年度から実施しています。

※環境基準は、環境基本法に基づき、水質汚濁に係る行政目標として、人の健康の保護および生活環境の保全を図る上で維持することが望ましい基準として定められています。

※水質汚濁に係る環境基準の水域類型として指定されている河川は、米原市内では、天野川のみ（類型：AA）です。天野川以外の河川については、参考基準となります。

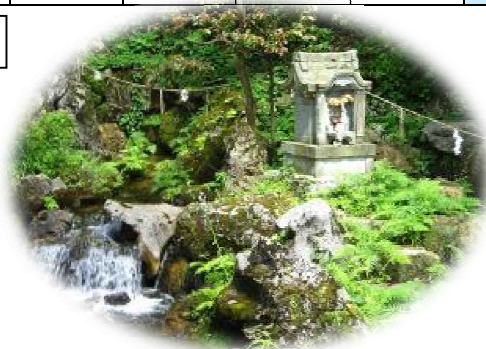
※水質調査は 12 月に実施しています。

（天野川は 12 月と 2 月に実施しており、数値の高い方を掲載しています。）

※カドミウム及びその化合物の基準は、平成 23 年 10 月に「0.01」から「0.003」に変更になりました。

⑫ 泉神社湧水	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.8	8.0	7.8	7.9	7.9	7.9	8.0	8.2	7.8	5.8～8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5 未満	0.2 未満	2.2	0.7	0.5 未満	0.5 未満	0.8	0.5 未満	0.5 未満	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.5 未満	1.2	0.5 未満	0.5 未満	0.6	0.5 未満	0.2 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	1 未満	1	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	検出	45	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.2 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.005 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.00005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.03	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L	0.019	0.05 未満	0.022	0.05 未満	0.05 未満	0.016	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	—
全窒素 (T-N)	mg/L	0.91	1.3	0.82	0.9	0.9	0.83	0.83	0.78	0.67	—
有機りん化合物	mg/L	不検出	0.01 未満	不検出	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.05 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
シアン化合物	mg/L	0.001 未満	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01
PCB	mg/L	0.0005 未満	不検出	0.0005 未満	不検出	不検出	不検出	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	—
塩化物イオン	mg/L	4.0	4.4	4.0	5.0	4.5	6.0	5.2	6.1	5.1	200
一般細菌数	個/mL	2.0	1.0	不検出	不検出	2.0	6.0	0	2.0	4	100
色度	度	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	1 未満	0.5 未満	1 未満	1 未満	5
濁度	度	0.5 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.1	0.1 未満	0.2 未満	0.1 未満	0.1 未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	1	0.96	0.9	0.9	0.9	0.79	0.9	0.63	0.8	10
TOC (全有機炭素)	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.6	0.1	0.3 未満	0.5 未満	0.5 未満	3

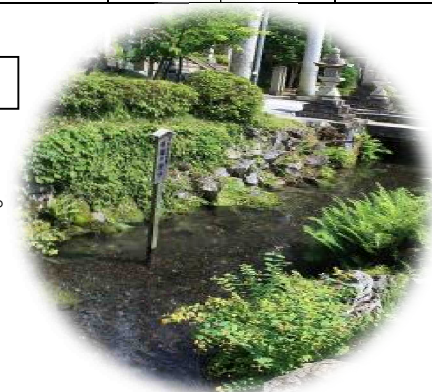
泉神社湧水



⑬ 居醒の清水 (湧水)	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—			7.7	7.8	7.9	7.9	7.9	8.1	7.9	5.8～8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L			1.1	0.8	0.5 未満	0.5 未満	1.0	0.5 未満	0.5 未満	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L			0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.2	0.5	0.5 未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L			1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L			0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL			検出	不検出	検出	検出	検出	不検出	検出(4)	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L			0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L			0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.2 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L			0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L			0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.00005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L			0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.001	0.01 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L			0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L			0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L			0.028	0.05 未満	0.05 未満	0.021	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	—
全窒素 (T-N)	mg/L			1.2	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	0.9	—
有機りん化合物	mg/L			不検出	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.05 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
シアン化合物	mg/L			不検出	不検出	不検出	不検出	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01
PCB	mg/L			0.0005 未満	不検出	不検出	不検出	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	—
塩化物イオン	mg/L			13.0	13.0	11.0	12.0	12.0	11.0	19	200
一般細菌数	個/mL			280.0	8.0	62.0	160.0	15.0	4	11	100
色度	度			0.6	0.5 未満	1 未満	1 未満	0.8	1 未満	1 未満	5
濁度	度			0.2 未満	0.2 未満	0.3	0.1	0.2 未満	0.1 未満	0.1 未満	2
臭気	—			異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—			異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L			1.2	1.4	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1	10
TOC (全有機炭素)	mg/L			0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.2	0.3 未満	0.5 未満	0.5 未満	3

居醒の清水

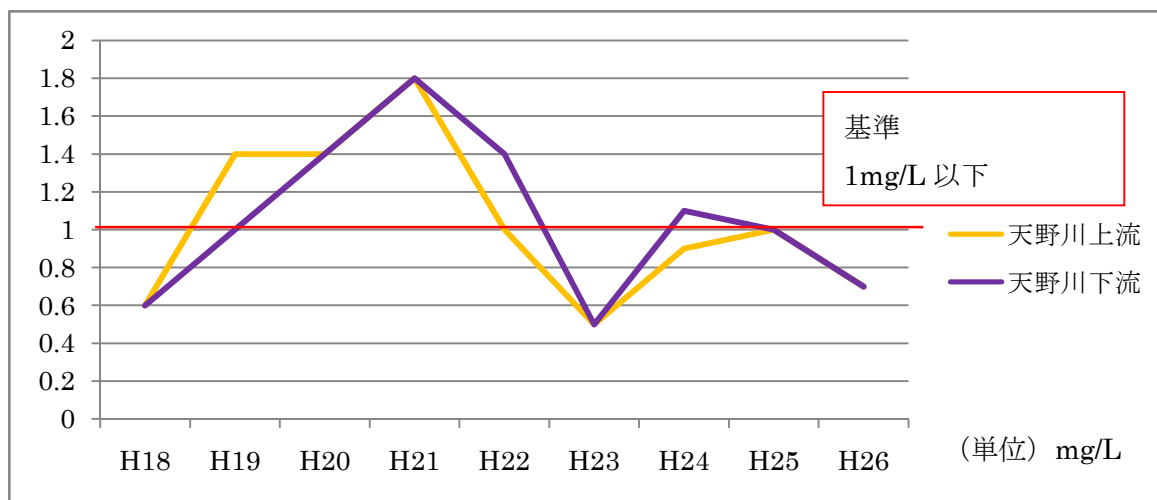
※居醒の清水は平成 20 年度から実施しています。
 ※湧水が飲用に適することを保証するものではありません。
 飲用として利用される場合は、煮沸されることを
 お勧めします。



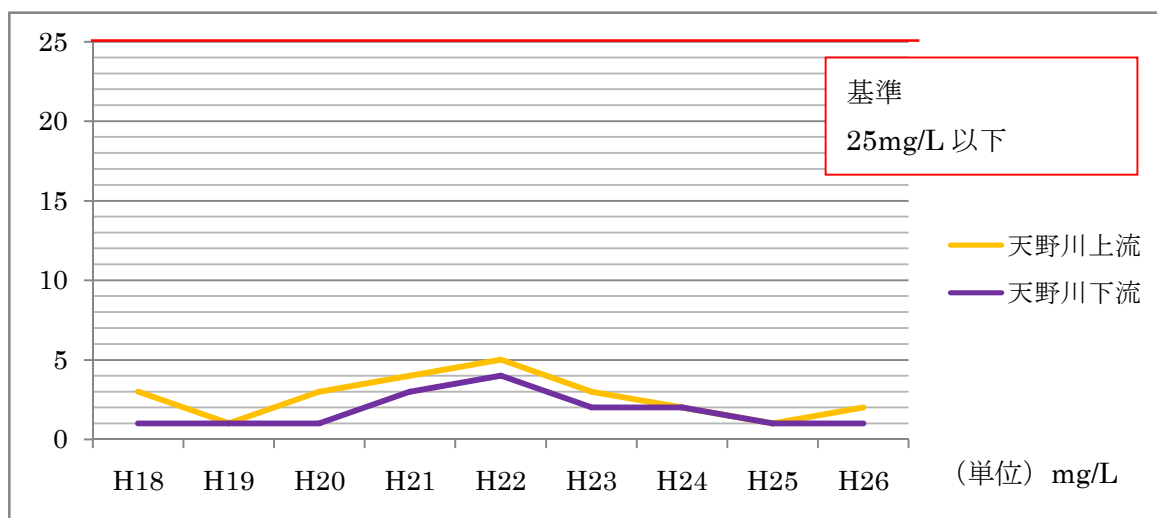
<平成 26 年度調査結果概要>

- 水質汚濁に係る環境基準の水域類型として指定されている天野川（類型：AA）の生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質(SS)は、おおむね現状維持もしくは改善傾向で推移し、環境基準値内におさまっています。
- 天野川の大腸菌群数は減少傾向にありますが、依然として環境基準値を超過しています。その他の基準値を超過した数値、有害な物質はありませんでした。

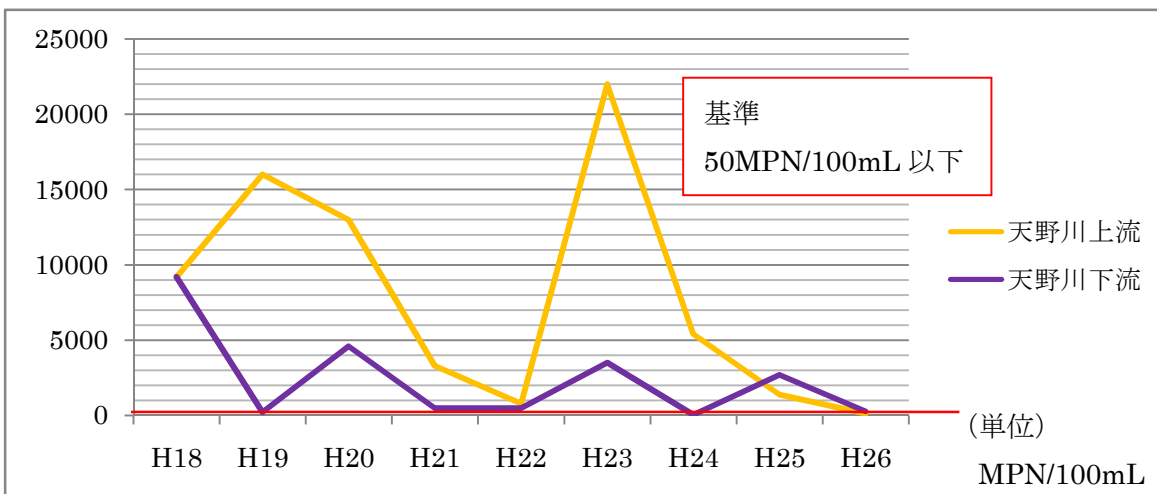
生物化学的酸素要求量(BOD)



浮遊物質(SS)



大腸菌群数



2 廃棄物

1) 米原市のごみ処理量実績

米原市から発生したごみは、湖北 2 市（米原市、長浜市）で構成される、湖北広域行政事務センターによって共同で処理されており、湖北広域行政事務センター一般廃棄物処理基本計画（平成 27 年 3 月）に沿って計画的な廃棄物処理が行われています。

現在、ごみ袋の有料化、14 種 18 品目の分別収集を実施しており、ごみの処理量は年々減少傾向にあります。

米原市のごみ処理量

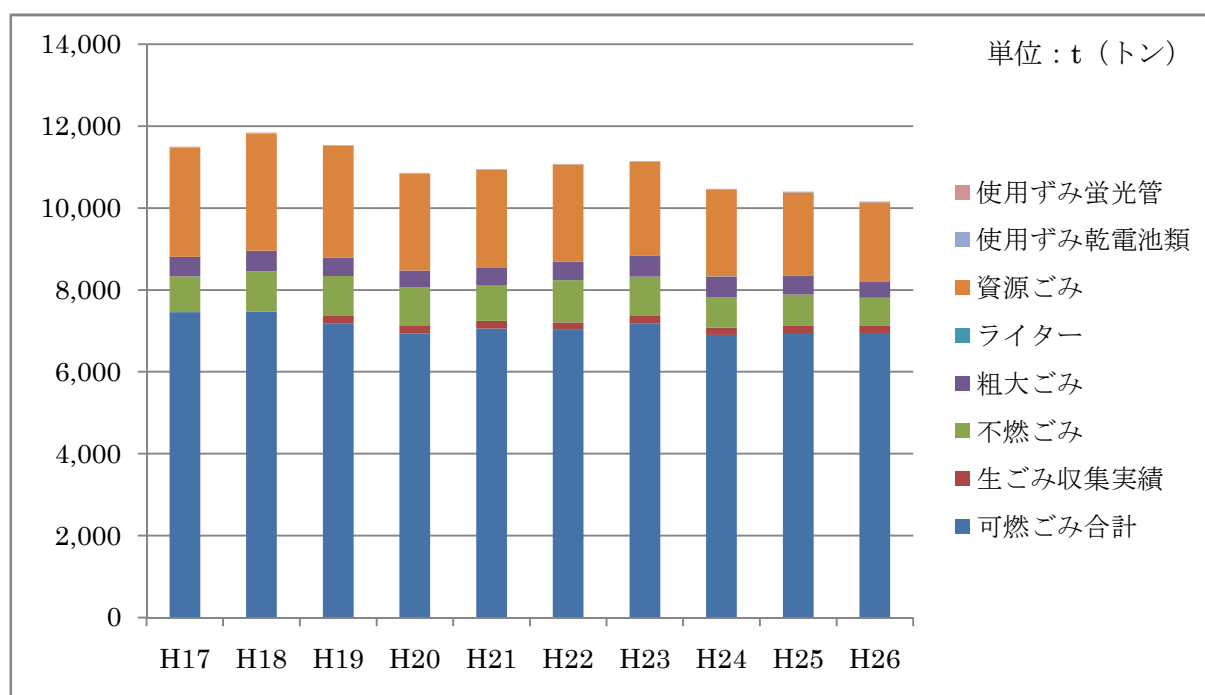
単位:kg

品 目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
可燃ごみ	7,453,269	7,470,353	7,172,298	6,937,139	7,058,265	7,041,881	7,174,882	6,902,473	6,928,845	6,949,747
生ごみ※	-	-	193,750	194,470	189,750	168,170	191,780	177,540	188,460	170,730
不燃ごみ	879,460	989,960	969,230	928,140	854,950	1,028,590	958,880	734,100	766,810	688,470
粗大ごみ	475,400	494,640	448,800	411,850	430,340	455,970	508,970	510,090	459,030	400,590
資源ごみ	2,668,210	2,866,080	2,728,200	2,363,940	2,395,620	2,361,860	2,288,470	2,122,550	2,033,750	1,927,680
使用済み乾電池類	13,630	13,460	12,800	12,420	12,370	11,900	12,540	12,350	11,900	12,080
使用済み蛍光管	1,017	3,336	2,443	3,991	3,365	3,748	2,655	2,174	1,345	2,787
ライター	-	-	-	-	-	-	720	1,010	1,110	1,100
計	11,490,986	11,837,829	11,527,521	10,851,950	10,944,660	11,072,119	11,138,907	10,462,287	10,391,250	10,153,184

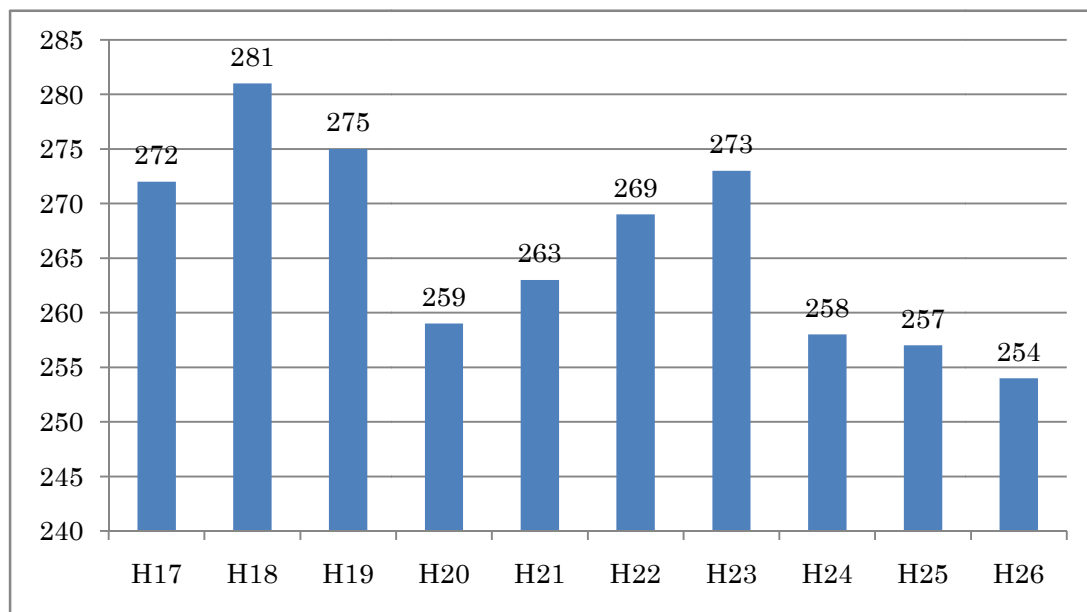
※生ごみは、伊吹地域のための収集実績です。

湖北広域行政事務センター調べ

注：湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。



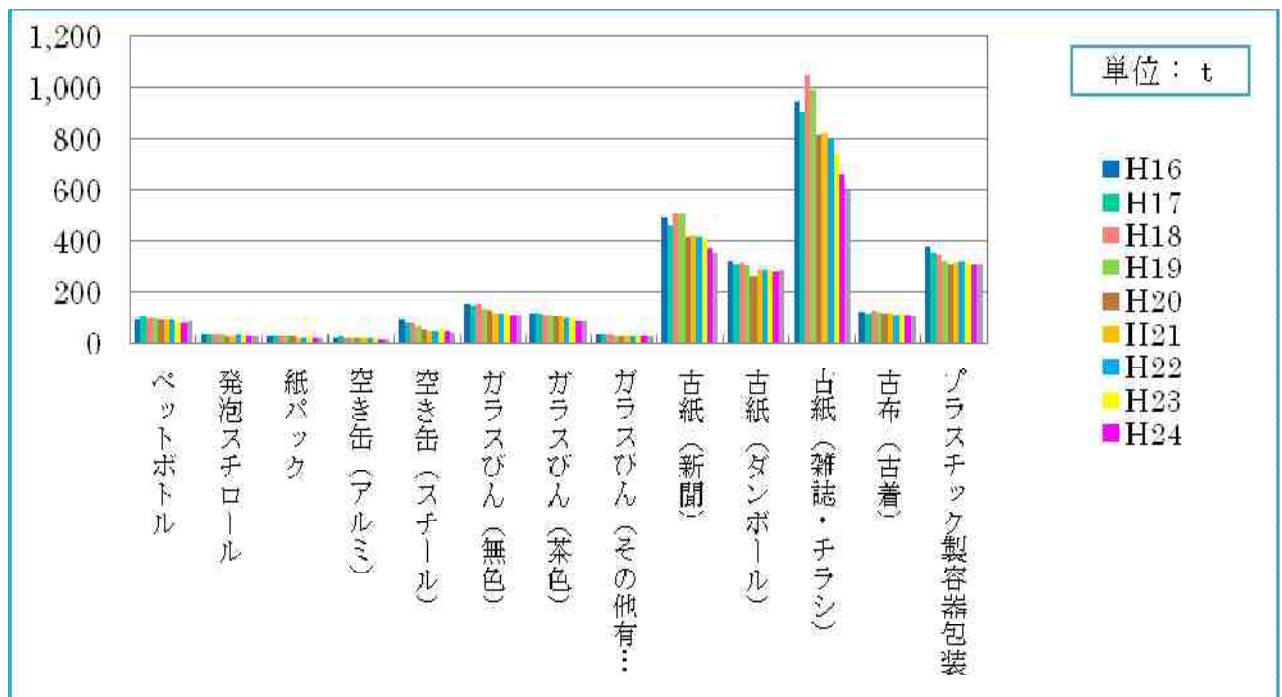
1人当たりの年間ごみ排出量



湖北広域行政事務センター調べ

注：湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。

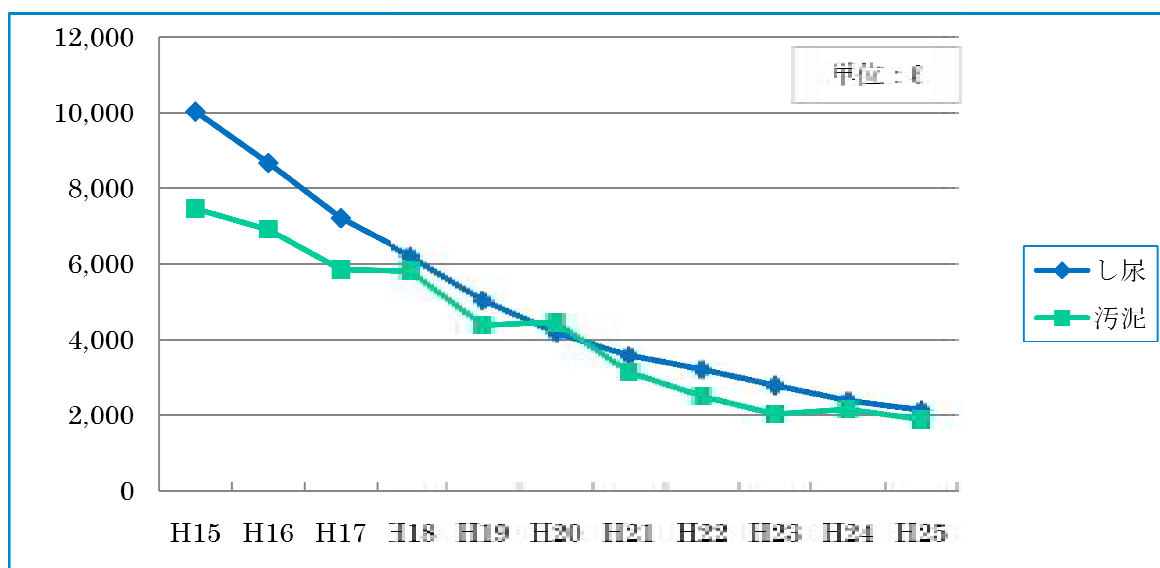
年間資源ごみ収集量



湖北広域行政事務センター調べ (H24 まで)

注：湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。

し尿・浄化槽汚泥収集量



湖北広域行政事務センター調べ

2) 米原市コンポストセンター

米原市では、平成 19 年から生ごみや牛ふん、農業集落排水汚泥を再利用し、堆肥化する施設「米原市コンポストセンター」を運営しています。この施設は、脱焼却処理により温室効果ガスの発生を抑制するとともに、有機物を農地還元し、有機肥料で栽培された安全でおいしい農作物の市内流通により、資源循環型の社会の構築と市民の健康増進を目的とするものです。

施設の概要

【施設名称】米原市コンポストセンター

【施設愛称】コンポステーション息吹

【敷地面積】7,524 ㎡

【堆肥化方式】パレット式(自然発酵型)

【処理能力】4.5t/日

【堆肥化を行う有機質資源】(米原市伊吹地域を対象)

- 農業集落排水脱水汚泥
- 生ごみ
- 刈草・剪定枝
- 畜糞



堆肥「ゆめいぶき」

- ゆめいぶき1号…原料(生ごみ、牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)
- ゆめいぶき2号…原料(農業集落排水汚泥、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)
- ゆめいぶき3号…原料(牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)



【特長】

- 堆肥化に長時間かけた熟度の高い堆肥
- 発酵の過程で、65度以上の発酵温度となっていることを確認した衛生的な堆肥
- 堆肥1gに数十億の豊富な微生物が存在する堆肥

利用資源量

項 目			計画量	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
搬入実績	廃棄物	生ごみ(t)	189.00	59.30	193.94	195.17	192.02	194.47	192.02	193.90	183.18	170.73
		牛ふん(t)	648.00	97.60	375.19	403.45	386.20	403.45	386.20	408.46	469.95	448.8
		農業集落排水汚泥(t)	972.00	35.00	270.08	910.00	819.89	910.00	819.89	823.20	830.18	862.53
		刈草・剪定枝(t)	20.80	0.60	5.36	32.24	9.53	32.24	9.53	2.88	4.88	3.96
		合 計	1,829.80	192.50	844.57	958.01	961.54	1,540.6	1,407.6	1,428.4	1488.2	1486
	有価物	籾殻(m³)	—	800	198	607	368	500	182	416	255	240
		米ぬか等(t)	—	10.87	105.25	65.88	76.00	77.06	76.94	71.19	93.06	92.99
施設稼働率(%)				15.24	52.14	58.32	59.77	89.67	80.80	82.87	85.65	86.19
堆肥販売量(kg)				0	11,996	71,379	111,037	150,423	103,130	75,422	82,544	67,536

※平成21年度からは、新たにゆめいぶき3号の生産販売を開始。また、平成22年度からは、山東地域の農業集落排水汚泥を搬入

米原市コンポストセンターのあり方については、米原市コンポストセンター運営委員会において全5回にわたり審議・検討され、平成27年3月に答申書「米原市コンポストセンターの今後のあり方について(答申)」が米原市長に提出されました。

本市では、これを受けて、米原市コンポストセンターを廃止する方向で決定し、生ごみ収集は平成28年3月を以て終了します。

※コンポストセンター運営委員会の審議・検討内容は、詳しくは以下に掲載しています。
市ウェブサイト:[トップ](#)<[くらし](#)<[ごみ、環境](#)<[環境](#)<[米原市の環境への取組](#)<[米原市コンポストセンター運営委員会](#)

第2章 米原市の環境施策の取組状況

1 環境基本計画重点プロジェクト取組状況

米原市環境基本計画(計画年度:平成20年～平成29年)では、目指すべき環境像「ホテルが輝き 笑顔あふれる田舎都市 まいばら」の実現に向けて、環境を大きく4つの分野に分け、分野ごとに8つの重点プロジェクトを定めています。重点プロジェクトにはそれぞれ達成状況の目安となる指標を設けており、目標の達成に向け、取り組みを実施しています。

重点プロジェクト1 “安全で快適な田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	目標達成率	目標値(H29)
水洗化率(%)	75.0	80.0	82.3	84.3	86.0	87.2	89.2	90.3	↑	A(100%)	90.0

<指標および取組の解説>

水洗化率は、伸びが鈍化しながらも順調に伸びているようにみえますが、分母となる行政区域内人口、処理区域内人口が減少していることが率の向上に寄与しています。汚水を浄化槽で処理している世帯については、浄化槽の設置初期投資費用が多額であること、維持管理は伴いますが、下水道と同じように汚水を処理できることから、耐用年数を超えるまで切り替えが進んでいない状況です。

平成26年度は、未水洗化世帯および浄化槽世帯の下水道への切り替え促進の啓発活動として、広報まいばら掲載、CATVでの文字放送を行ったほか、未水洗化世帯への戸別訪問を行いました。

なお、切り替えを促進するための融資あっせん制度では、金融機関の要件審査において、高齢者や償還能力の低い低所得者が融資不可となり制度活用に至れない事例があることが課題に挙げられます。(上下水道課)



↑ 梓河内農業集落排水処理施設



↑ 公共下水道 寺倉真空ステーション

重点プロジェクト2 “ホテルが輝き続ける豊かな田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	目標達成率	目標値(H29)
自然案内人の数 (伊吹山で活動するガイドの数)(人)	20	23	31	21	25	26	27	28	↑	B (80%超)	30
環境こだわり農産物認証面積(ha)	137.8	170.6	178	272.1	296.9	296.9	255.8	241	↓	B (80%超)	281
地場農産物を取り入れた学校給食システム(地場産物の使用割合)(%)	11.8	19.5	22.4	26.6	32.1	32	31.9	31.9	→	B (80%超)	35.0
生き物調査保全員(人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	E(取組なし)	—

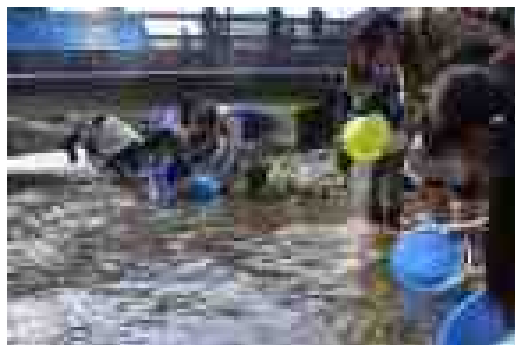
< 指標および取組の解説 >

本市では、市民講師(まなびサポーター)を含む出前講座のメニューの充実や観光ボランティアガイド協会への補助(金額:270,000円)を実施し、自然観察の促進や、地域における自然保護リーダーの育成に取り組んでいます(生涯学習課、商工観光課)。

環境こだわり農業、環境保全型農業は、制度の活用や環境こだわり農産物について周知・PRを継続しており、市内各地の農業者に徐々に定着しつつあります。平成26年度は、書類提出の煩雑さから大規模農家がやめられたことで認証面積が減少しましたが、取組者数自体は増加しています(農政課)。

学校給食では、地産地消を重視してJAレーク伊吹と優先的に農産物を購入するための協定を締結しており、市内全小中学校での地場農産物の提供を達成しています。提携農産物はほとんどが路地栽培であるため、安定的な供給が困難となる場合があるため、農家数の減少や獣害の影響が懸念されるなか多くの種類の農産物を提供していただけるよう、JAレーク伊吹と連携を取り情報共有を行っていきます(学校給食課)。

現在、生き物調査保全員という呼称を用いている事業はありません。ひとくちに生き物といっても、植物、動物、魚類、水生生物など、調査・保全すべき対象は多岐に渡ります。本市では、地域主導、市民が主役の環境保全活動をサポートし、人と自然の関わりを支援しています(環境保全課)。



米原市ビワマス倶楽部の活動風景 →

重点プロジェクト3 “^わ環のしくみが備わった田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	目標達成率	目標値 (H29)
温室効果ガス排出量の少ない車の導入(公用車累計)(台)	12	6(18)	12 (30)	3 (33)	5 (38)	5 (43)	2 (53)	11(60) ※12台中 11台	↑	B (80%超)	80
廃食用油の再資源化(廃食用油回収量)(ℓ)			185.0	573.0	922.0	802.5	774.5	809.1	↑	B (80%超)	900.0
生ごみ分別収集実施地域									→	B (80%超)	市内全域での事業可能性を検証

< 指標および取組の解説 >

公用車については、公用車更新基準を定め計画的に更新を行っており、更新時にはハイブリット車や低燃費車など、エネルギー効率のよい車を積極的に導入しています。平成 26 年度は購入台数 12 台中 1 台を除く 11 台で低公害車を導入しました(管財課)。

廃食用油は平成 22 年度から市役所各庁舎で市民の持ち込みによる拠点回収を開始し、年々市民にも浸透しており、回収量は増加しています。回収された廃食用油は、BDF(バイオディーゼル燃料)に精製し、本市公用車(汚泥運搬車両)の燃料として使用しています(環境保全課)。

生ごみ分別収集については、市内全域での事業可能性を検討してきましたが、14 ページに記載のとおり、平成 28 年 3 月を以て終了します(環境保全課)。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、人間の活動が自然に与える甚大な影響をらしめることとなり、安全で自立分散型のエネルギー社会を構築することが急務となっています。本市では、平成 26 年度に「米原市公共建築物等における地域産木材の利用方針」、「米原市再生可能エネルギー利活用方針」を策定し、湖北・米原の地域の特色を活かした省資源・循環型のエネルギー社会の構築に取り組んでいます。

また、平成 25 年 4 月から市役所地球温暖化対策率先実行計画の運用を開始しており、市役所の業務から排出される温室効果ガスの把握・削減を図るとともに、地域社会の中で率先して省エネ・省資源を進めています。実行計画の取組状況の詳細は、24 ページ、25 ページに掲載しています。

重点プロジェクト4 “みんなで創る環境豊かな田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比	目標達成率	目標値 (H29)
環境リーダーの人数(環境美化推進員数)(人)	193	217	213	205	221	209	188	214	↑	B (80%超)	300
環境美化活動を行っている自治会数(年3回)	50	58	53	49	57	56			—	—	105
エコライフスタイルプランの参加世帯数									—	E(取組なし)	—
環境フォーラム参加者数(人)	284	181	151	229	184	145	908	300	↓	A(100%)	300

< 指標および取組の解説 >

地域に密着した環境保全活動の推進リーダー育成を図るため、1自治会当たり最大5名の環境美化推進員を推薦いただき、平成26年度は214名の方に就任いただきました。環境美化活動は、自治会独自の活動を日常的に実践されている自治会もあることから、指標としては把握していませんが、米原市クリーン作戦(5月中心)、びわ湖を美しくする運動(7月中心)、県下一斉清掃(12月中心)の年3回、米原市一斉美化活動として自治会に呼びかけることで、全市的な環境美化の意識を醸成しています(環境保全課)。

環境基本計画では、「エコライフスタイルプラン」作成や「米原環境検定」の実施により、環境リーダーの育成につなげていくことを掲げていますが、計画策定以来、これらの事業は実施できておりません。情報技術の進展や国民の環境意識の向上により、環境・エコに関する情報は様々なかたちで入手することができ、その内容も多種多様なものが見られます。こうした背景をふまえた上で、本市では、自然豊かな地域の特色を生かし、地域の保全につながるような、効果的な環境啓発活動を実践していくことが課題となっています。市民実行委員会方式で開催している環境フォーラムには、市内外から約300名が参加され、米原の水・人・自然のよさをPRする機会となりました。今後も、各主体が協働して環境問題に対する気づきを促す機会を創出します(環境保全課)。

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧　－①重点プロジェクト別取組状況－

＜凡例・注記＞ ●指標区分:アウトプット…仕事量(直接的な行政施策・事業の実施量)
アウトカム…成果(どれだけの成果があがったか)

- 目標達成率: A…取組が推進され、目的が100%達成されている。
B…取組がある程度進んでおり、目的達成度は80%程度である。
C…取組があまり進んでおらず、目的達成度は50%程度である。
D…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。
E…現状の変化により、取組を実施できなくなった。

●目標値について、環境基本計画実施計画(H26-H28)策定時に変更したものは、実施計画上の数値を用いる。

分野	環境目標	基本方針	分野	基本施策	指 標	実績値									目標値 (H29)	備考	事務事業名	担当部署名	H26取組実績	H27取組計画	H26年度環境審議会における指摘事項と対応状況・現況																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比較							目標達成率	指摘事項	対応状況・現況																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1 生活環境	安全で快適な田舎都市を育む	1.1安全で快適な生活環境の創造・保全	生活環境	1.1.1河川水や水辺の創造・保全	水洗化率(%)	75.0	80.0	82.3	84.3	86.0	87.2	89.2	90.3	↑	A	90.0	当初計画の目標は「96%」	農業集落排水事業繰出事業	上下水道課／環境保全課	○広報9/1号に啓発記事掲載、同時期でCATV文字放送を行った。 ○未水洗化世帯戸別訪問として、山東桜ヶ丘地区を対象に実施した。 ○融資あっせん制度による新規あっせん 1件	○広報まいばら、CATVでの啓発 ○未水洗化世帯戸別訪問【予算額】 生活扶助世帯 500千円 融資あっせん預託金 4,100千円	○農村集落排水汚泥について、コンポセンターの動向により、処理について新たな方向性の検討が必要 ○浄化槽の法定点検実施率を把握してはどうか	○コンポストセンターの在り方について、引き続き検討中 ○公益社団法人滋賀県生活環境事業協会が点検実態等を把握しておられ、浄化槽の日(10/1)に合わせて広報掲載などの啓発を行っている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																		観光関連団体支援事業	商工観光課	○米原観光ボランティアガイド協会補助金(270,000円) ○観光パンフレットの作成(399,600円) ○米原観光協会補助金(観光ホームページの運営 250,000円)	○米原観光ボランティアガイド協会補助金(220,000円) ○米原観光協会補助金(観光ホームページの運営 250,000円)	特になし	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
2 自然環境	ホテルが輝き続ける田舎都市を育む	2.1豊かな森と清涼な水の創造・保全	農業	2.1.2里地里山の活性化・グリーンツーリズム	自然案内人の数(伊吹山で活動するガイドの数)(人)	20	23	31	21	25	26	27	28	↑	B	30	当初計画の目標は「50人」	観光関連団体支援事業	商工観光課	○米原観光ボランティアガイド協会補助金(270,000円) ○観光パンフレットの作成(399,600円) ○米原観光協会補助金(観光ホームページの運営 250,000円)	○米原観光ボランティアガイド協会補助金(220,000円) ○米原観光協会補助金(観光ホームページの運営 250,000円)	特になし	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧　－②指標の推移－

分野	環境目標	基本方針	分野	基本施策	指 標	実績値						前年比較	目標達成率	目標値 (H29)	備考	事務事業名	担当部署名						
						H19	H20	H21	H22	H23	H24							H25	H26				
1 生活環境	安全で快適な田舎都市を育む	安全で快適な生活環境の創造・保全	生活環境	1.1.1河川水や水辺の創造・保全	水洗化率(%)	75.0	80.0	82.3	84.3	86.0	87.2	89.2	90.3	↑	A	90.0	当初計画の目標は「96%」	農業集落排水事業繰出事業	上下水道課				
					水質調査結果(基準値以上のか所数)	0	0	0	0	0	0	0	0	→	B	0		公共下水道事業繰出事業	上下水道課				
					ふるさと川づくり事業委託契約数(自治会数)	65	61	63	63	63	62	62	62	→	A	62		河川維持管理事業【再掲】	建設課				
				1.1.2良好な大気環境の保全	温室効果ガス排出量の少ない車の導入(公用車累計)(台)	12	6(18)	12(30)	3(33)	5(38)	5(43)	2(53)	11(60) ※12台中11台	↑	B	80	当初計画の目標は「30台」 グリーン購入適合車	市有財産管理事業	管財課				
					職員のノーマイカー実施率(%)				36.3	36.8	31.7	30.4	28.3	↓	C	50.0		市役所地球温暖化対策事業	環境保全課				
					市内全駅での乗車数(人)	6,853	6,632	6,839	6,886	6,883	6,992			—	—	—	新幹線分除く	公共交通対策事業	防災危機管理課				
					「公共交通の充実」の満足度							70.8%	64.8%	↓	B	75.0%	市民意識調査より	公共交通対策事業【再掲】	防災危機管理課				
				1.1.3その他の生活環境の保全	地下水・土壌調査結果(基準値以上のか所数)	0	0	0	0	0	0	0	0	→	A	0		公害防止対策事業【再掲】	環境保全課				
					環境美化活動を行っている自治会数(年3回)	50	58	53	49	57	56			—	—	105	報告書を提出せずに実施されている自治会もあるため指標廃止	美化対策事業【再掲】	環境保全課				
					琵琶湖一斉清掃参加団体(自治会、事業所)数							44	0(雨天中止のため)	→	—	163		美化対策事業【再掲】	環境保全課				
					不法投棄・散在性ごみの回収量(t)		16.3	16.7	17.9	14.6	16.3	11.5	20.8	↑	—	減少	※回収量の増加は仕事量の増加による	美化対策事業【再掲】	環境保全課				
					環境美化監視員によるパトロール回数	324	317	292	302	325	346	316	321	↑	A	288以上		美化対策事業【再掲】	環境保全課				
			景観	1.2.1歴史的街並みの保全	文化的景観を活用した事業の実施(回)						2	6	5	↓	B	7		文化的景観保護推進事業	歴史文化財保護課				
					文化的景観活用事業への参加者数(人)							120	120	→	B	130		文化的景観保護推進事業	歴史文化財保護課				
					狂犬病予防接種開催日数								9	→	A	9							
					修景施設整備補助件数(累計)(件)	1(2)	4(6)	5(11)	5(16)	4(20)	3(23)			—	E	—	H24年度で事業完了	街なみ環境整備事業	都市計画課				
				1.2.2市街地の自然の創造・保全	「やすらぎ環境の整備」の満足度(%)						84.9	84.7	81.4	↓	B	85.0	市民意識調査より (景観の保全や公園整備等により、市民にとってやすらぎのある環境整備を進めます。)	景観行政事業 公園維持管理事業	都市計画課				
					2 自然環境	安全で快適な生活環境の創造・保全	森林保全・里地里山の活性化・グリーンツーリズム	2.1.1多面的な機能を持つ森林環境の保全	集落ぐるみの森林整備の取組集落数							4	5	↑	B	7		森林保護育成事業	林務課
									市内森林での年間木材生産量(m³)						3,340	2,600	2,250	↓	C	6,000		森林保護育成事業	林務課
									不法投棄・散在性ごみの回収量(t)【再掲】		16.3	16.7	17.9	14.6	16.3	11.5	20.8	↑	—	減少	※回収量の増加は仕事量の増加による	美化対策事業【再掲】	環境保全課
環境美化監視員によるパトロール回数【再掲】	324	317	292	302					325	346	316	321	↑	A	288以上		美化対策事業【再掲】	環境保全課					
水環境報告書「スローウォーターなくらし」を活用した事業の実施(回)									水環境調査実施	3	5	5	→	A	3		水源の里水環境ふれあい事業	環境保全課					
2.1.2里地里山の活性化の推進	市内森林での年間木材生産量(m³)【再掲】									3,340	2,600	2,250	↓	C	6,000		森林保護育成事業【再掲】	林務課					
	耕作放棄地面積(累計)(ha)		全筆調査	0.34				—	0.94	12.2	12.5	12.6	↑	A	12.6		耕作放棄地等解消対策支援事業	農政課					
	商品化件数									2	0		—	—	—		米原ブランド創造事業	商工観光課					
	米原市産農産物を使用する家庭の割合(お米以外)(%)	—	54.6 (※お米含む)	—				—	—	—	40.6	—	→	B	45.0以上	アンケートは5年に1回の実施	食育推進事業	健康づくり課					
JALレーク伊吹を通じて給食センターへの搬入農家数										20	20	→	B	24		給食センター学校給食運営事業	学校給食課						
地場農産物を取り入れた学校給食システム(地場産物の使用割合)(%)	11.8	19.5	22.4	26.6	32.1			32	31.9	31.9	→	B	35.0	当初計画の目標は「市内全小・中学校」	給食センター学校給食運営事業	学校給食課							
食育講習会の開催回数								3	4	4	→	A	4		食育推進事業	健康づくり課							
伊吹山研修会の開催											—	E	—										
自然案内人の数(伊吹山で活動するガイドの数)(人)	20	23	31	21	25			26	27	28	↑	B	30	当初計画の目標は「50人」	観光関連団体支援事業	林務課							
市内の全集落を「水源の里」として いることを知っている市民の割合(%)				水源の里条例 制定	31.2			37.6	39.9	41.6	38.1	↓	C	60.0		地域が主体となる移住交流 体験事業	政策推進課						
田んぼ稲作体験実施小学校数		11	12	12	11			10	9	9	→	A	9	学校数の減少による減	農業体験学習事業	農政課							

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧　－②指標の推移－

分野	環境目標	基本方針	分野	基本施策	指 標	実績値						前年比較	目標達成率	目標値 (H29)	備考	事務事業名	担当部署名		
						H19	H20	H21	H22	H23	H24							H25	H26
		2・2環境保全型農業の推進	農業	2.2.1環境に配慮した農業施設整備と維持管理の推進									—	—	—	指標なし		農政課	
				2.2.2人にも環境にもやさしい農業の推進	環境こだわり農産物認証面積 (ha)	137.8	170.6	178	272.1	296.9	296.9	255.8	241	↓	B	281	当初計画の目標は「500ha」	農業振興支援事業	農政課
		2・3生き物と共生できる環境の創造・保全	自然保護	2.3.1希少生物や身近な生き物の生息環境の創造・保全	営保護活動団体数	3	4	4	4	4	4	4	4	→	B	活動団体の増加		ホタル保護活動事業	環境保全課
					営保護条例による保護区域の認知度(%)				66.6	67.5	66.3	68.7	66.3	↓	B	80.0		ホタル保護活動事業	環境保全課
					イベントの入込客数(ほたるまつり来訪者数) (人)	22,500	23,000	30,600	24,100	24,000	21,000			—	—	—		観光イベント支援事業	商工観光課
					生き物調査保全員 (人)									—	E	—	事業中止(取組なし)		環境保全課
					伊吹山地草原植物群落における低木類伐採面積(延べ面積) (ha)						1	1(2)	0(2)	↓	—	5	必ずしも伐採面積によらない	観光資源保護事業	環境保全課
					天野川へのビワマスの遡上範囲(琵琶湖からの距離) (km)					2	4	4.4	6	↑	B	7		ビワマス遡上プロジェクト事業	環境保全課
			獣害対策	2.3.2有害鳥獣対策の推進	里山リニューアル面積(累計) (ha)	12.59	15.63(28.22)	15.56(43.78)	18.57(62.35)	20.7(83.05)	13.28(96.33)	15.53(111.86)	32(143.86)	↑	B	150(H28)		鳥獣対策マスタープラン推進事業	林務課
		3・1地球温暖化防止に向けた取り組みの推進	地球温暖化対策・再エネ	3.1.1.二酸化炭素排出量の少ないエネルギーへの転換	温室効果ガス排出量の少ない車の導入(公用車累計) (台)	12	6(18)	12(30)	3(33)	5(38)	5(43)	2(53)	11(60) ※12台中11台	↑	B	80	当初計画の目標は「30台」グリーン購入適合車	市有財産管理事業	管財課
					家庭用再生可能エネルギー利用設備導入件数(累計)						96	121(217)	86(207)	↓	B	300		再生可能エネルギー推進事業	環境保全課
				3.1.2省エネルギー型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換	市の公共施設におけるCO2総排出量(t)	973.7	992.9	998.8	927.0	887.0	1079.7			—	—	—	H24は原発停止に伴う、電気 のCO2排出係数上昇のため増加	市役所地球温暖化対策事業【再掲】	環境保全課
										2399.6	2364.6	2322.1	2380.7	↑(減少が望ましい)	B	2255.6	H25より新実行計画。対象施設を拡大	市役所地球温暖化対策事業【再掲】	環境保全課
					市役所における地球温暖化対策「部署別研修」実施率(%)					83	81	76	94	↑	B	100		市役所地球温暖化対策事業【再掲】	環境保全課
					市内全駅での乗車数【再掲】	6,853	6,632	6,839	6,886	6,883	6,992			—	—	—	新幹線分除く	公共交通対策事業【再掲】	防災危機管理課
					「公共交通の充実」の満足度【再掲】							70.8%	64.8%	↓	B	75.0%	市民意識調査より	公共交通対策事業【再掲】	防災危機管理課
					(仮)鉄道フォーラムの観客動員数【再掲】									—	—	—		公共交通対策事業【再掲】	防災危機管理課
					職員のノーマイカー実施率(%)【再掲】					36.3	36.8	31.7	30.4	28.3	↓	C	50.0		市役所地球温暖化対策事業【再掲】
			3・2ごみの削減	3.2.1ごみを減らすための社会全体の工夫	家庭から出る資源ごみのリサイクル率(%)	30.0	28.0	28.5	27.8	27.3	26.5	25.9	25.3	↓	B	26.0	家庭系ごみ排出量に占める資源ごみ・生ごみ(伊吹地域)の割合(※目標値は一般廃棄物処理基本計画に基づく)	ごみ分別収集対策事業	環境保全課
給食センター1日の生ごみ量										70.0	—	B	90.0						
3.3.1省資源および未利用資源の有効活用	堆肥生産量(t)	12.0			71.3	111.0	150.4	103.1	75.4	83.0	68.0	↓	B	100.0		農業集落排水事業繰出事業(コンポスト)	環境保全課		
	廃食用油の再資源化(廃食用油回収量) (ℓ)			185.0	573.0	922.0	802.5	774.5	809.1	↑	B	900.0	当初計画の目標は「事業可能性を検証する」	農業集落排水事業繰出事業(コンポスト)	環境保全課				
	生ごみ分別収集実施地域	コンポストセンター運営委員会において検討(廃止の方向で検討されている)						→	B	市内全域での事業可能性を検証する			農業集落排水事業繰出事業(コンポスト)	環境保全課					
		4・1環境教育の推進	環境教育	4.1.1学校・園教育における環境教育の推進	各校園での環境学習実施	達成	達成	達成	達成	達成	達成			—	—	—		環境教育推進	学校教育課
					清掃等の環境活動を実施した単位子ども会数								55	→	B	65		青少年育成団体支援事業(子ども会育成連合会)	子育て支援課
					環境学習出前支援プログラムの開発(累計プログラム数)								9	—	B	12		出前講座	生涯学習課
					副読本、外部人材、出前講座を活用した授業数							推進		—	—	—		環境教育推進	学校教育課
					水環境報告書「スローウォーターなくらし」を活用した事業の実施【再掲】					水環境調査実施	3	5	3	↓	A	3		水源の里水環境ふれあい事業【再掲】	環境保全課
					水環境報告書「スローウォーターなくらし」を活用した事業の実施【再掲】					水環境調査実施	3	5	3	↓	A	3		水源の里水環境ふれあい事業【再掲】	環境保全課
			4.1.2地域における環境学習の推進	自然観察会への参加人数					96	124	150	53	↓	C	100		環境啓発事業【再掲】	環境保全課	
				環境に関する出前講座のメニュー数(実施回数)	6(23)	6(43)	7(3)	6(7)	6(4)	6(6)	6(2)	9(11)	↑	B	12(10)		環境啓発事業【再掲】	環境保全課	
4																			
21																			

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧　－②指標の推移－

分野	環境 目標	基本 方針	分野	基本施策	指　　標	実績値								前年比較	目標達成率	目標値 (H29)	備考	事務事業名	担当部署名
						H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26						
ひと	い 田 舎 都 市 を 育 む	4 ・ 2 環 境 行 動 の 推 進	環 境 学 習 ・ 啓 発		カヌー体験事業の実施回数(参加者数)							13(341)	12(251)	↓	C	20(500)		スポーツ推進体制整備事業(カヌー体験)	生涯学習課
				4.2.1地域リーダーの育成	環境リーダーの人数(環境美化推進員数)(人)	193	217	213	205	221	209	188	214	↑	B	300		環境啓発事業【再掲】	環境保全課
					ルッチ大学卒業生・現役生交流会の参加者数								40	－	B	60		ルッチ大学開催事業	生涯学習課
					市民意識調査によるルッチ大学の認知度(%)								51.3	－	B	60		ルッチ大学開催事業	生涯学習課
					市民団体の交流の場企画回数									－	－	10		市民活動団体等支援事業	政策推進課
					地域創造支援事業で支援したまちづくり団体数(うち自立した団体数累計)			6(0)	9(1)	12(3)	13(7)	13(8)		－	－	15(10)		地域創造支援事業	各自治振興課
				4.2.2環境情報の共有と環境保全行動の推進	エコライフスタイルプランの参加世帯数									－	E	－	事業中止	環境啓発事業【再掲】	環境保全課
					環境フォーラム参加者数(人)	284	181	151	229	184	145	908	300	↓	A	300	当初計画の目標は「フォーラム年1回開催を継続」	環境啓発事業【再掲】	環境保全課
					環境フォーラム参加者アンケート満足度(%)	80.0	87.0	96.0	73.3	65.3	78.6			－	E	－		環境啓発事業【再掲】	環境保全課

…計画に記載されている指標

…事業の廃止、変更、新規事業などにより、指標に変更があり、実績値がないもの

…計画にも実施計画にも記載されていない独自指標

米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況

米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の概要		
<目標> 平成29年度CO2排出量⇒平成23年度比 マイナス 6% 基準年度 (平成23年度) 2,399.6t－CO2 ⇒ 目標年度 (平成29年度) 2,255.0t－CO2 <対象施設> 市の全ての公共施設(※目標値対象施設は、指定管理者施設および水道施設を除く) <推進体制> 市長 市役所地球温暖化対策推進本部 ■本部長：副市長 ■本部員：教育長、各部長等 ■推進事務局長（環境保全課長） 市役所地球温暖化対策総括管理者 (経済環境部長) 市役所エコスタイル推進チーム ■事務局（環境保全課） ■チーム員（各部等推進員代表） 市役所地球温暖化対策推進責任者 (各部長等) エコスタイル推進リーダー (各所属長) エコスタイル推進員 (各所属職員) <td> <省資源・省エネルギーに向けた取組項目> (1)全部門共通の取組 ア グリーン購入の推進 イ 公共事業等における環境負荷の低減 ○環境負荷の低減に努めた計画設計 ○環境に配慮した材料の使用等 ウ 既存施設における再生可能エネルギー設備の導入と省エネ改修の実施 エ イベントのエコ化の推進 ○会場等の温度や照明の適正化、参加者等への環境配慮の紹介や協力の呼びかけ等 オ 環境配慮型の公共建築物の整備 カ 公用車へのエコカーの導入 キ エコドライブの実践 (2)事務系部門における取組 ア 公用車の燃料使用量削減に向けた取組 ○出張時の公共交通機関利用、複数人が同一場所に移動する際の原則乗り イ 冷暖房等の電力・燃料使用量削減に向けた取組 ○執務室の温度管理徹底(夏28℃、冬19℃) ○各庁舎の冷暖房の運転時間は原則執務時間内とする ○夏期のクールビズ、冬期のウォームビズの実施 ウ 電気使用量削減に向けた取組 ○原則始業前、昼休みなど必要時以外および日中の窓際は業務に支障のない限り消灯を実施 ○半日単位での離席時はPCを原則オフにする。また、短時間離席・昼休み等はスタンバイモードの設定やフタ閉じを行う エ その他エネルギー削減に向けた取組 ○ガスコンロ、給湯器などの効率的な使用 ○ノー残業デー、ノーマイカーデーの実施 オ 用紙類の使用量削減に向けた取組 ○両面コピーや裏紙の有効活用、縮小機能の活用 ○会議資料等の簡略化およびプロジェクト等の活用 ○ステープラの使用を極力控える カ ごみの排出量削減に向けた取組 ○3Rの推進 ○事務所内のごみ箱を削減し、ごみ減量意識の醸成を図る ○マイバッグ・マイ箸・マイ水筒の持参 (3)市民サービス系部門における取組 市民サービス系部門における事務部門や施設の共用部分については基本的には事務系部門に準じた取組を行う ※学校・幼稚園・保育所における取組 ◇環境教育の推進 ◇環境に配慮した学校施設等の整備 ⇒CO2削減チャレンジチェックシートにより、自身の実施状況を毎月自己評価する </td> <td> <環境配慮型公共建築物整備のガイドライン> (1)目的 公共施設の修繕・増改築・新築の際に配慮すべきことを明示し、建築物等の環境品質や環境性能の向上と、さらなる環境負荷の低減を図り、地域の自然環境と共生する持続可能な公共建築物等の整備を推進することを目指す。また、伊吹山や琵琶湖をはじめとする自然環境や気候特性、それらが育んできたまちなみや景観などの地域特性を生かした施設の創造を目的とする。 (2)重点取組項目 ①米原市の地域特性の活用 ○街道や集落などのまちなみ、琵琶湖や伊吹山などの自然景観といった米原らしい景観との調和 ○地域産の木材の積極的な活用 ○降雪量や風向き等の気候特性への配慮や地域の植生にあった植栽等 ②LED照明の積極的な導入など照明エネルギーの最小化 ③断熱性の高い材料や工法の採用、庇や中高木の植栽等で日射を遮る工夫 ④太陽光発電設備の導入や自然通風、自然採光など自然エネルギーの活用 ⑤自然材料の使用 ⑥障がいをお持ちの方や高齢の方などに関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン ⑦既存樹木等の保全・復元、敷地内緑化率の向上 ⑧アスファルトやコンクリートの抑制、透水性舗装など地下水の涵養 (3)推進項目 ①米原市の地域特性の活用 ○環境用水路やカワ、池をつくるなど自然の水の流れを取り入れたり、地下水の保全・涵(かん)養等「まいばらの水」の保全 ○市民等が気軽に利用できる憩いスペースの提供や自転車利用者への利便性向上等地域や環境への貢献を配慮 ②省エネ機器の導入、ゾーニング、水資源の有効活用等による省エネルギー ③エネルギー損失の低減を考慮した設備システム、無駄の少ない空調換気システムの採用による負荷の低減 ④再生可能エネルギー設備、木質バイオマスの利用推進等 ⑤エコマテリアルの採用(低環境負荷材料、リサイクル・リユース資源等) ⑥長寿命化 ○将来の施設内部機能の変化に対応可能なフレキシビリティ確保 ○非構造部材等の合理的耐久性や更新性を確保 ○維持管理が効率的・効果的に実施できるようなスペースを確保 ⑦資材の適正使用・廃棄物の適正処理 ⑧周辺自然環境への配慮 ○地形改変を抑制し、周辺自然環境への影響を最小限とする。 ○ビオトープの設置等生物の生息空間に配慮する。  </td>	<省資源・省エネルギーに向けた取組項目> (1)全部門共通の取組 ア グリーン購入の推進 イ 公共事業等における環境負荷の低減 ○環境負荷の低減に努めた計画設計 ○環境に配慮した材料の使用等 ウ 既存施設における再生可能エネルギー設備の導入と省エネ改修の実施 エ イベントのエコ化の推進 ○会場等の温度や照明の適正化、参加者等への環境配慮の紹介や協力の呼びかけ等 オ 環境配慮型の公共建築物の整備 カ 公用車へのエコカーの導入 キ エコドライブの実践 (2)事務系部門における取組 ア 公用車の燃料使用量削減に向けた取組 ○出張時の公共交通機関利用、複数人が同一場所に移動する際の原則乗り イ 冷暖房等の電力・燃料使用量削減に向けた取組 ○執務室の温度管理徹底(夏28℃、冬19℃) ○各庁舎の冷暖房の運転時間は原則執務時間内とする ○夏期のクールビズ、冬期のウォームビズの実施 ウ 電気使用量削減に向けた取組 ○原則始業前、昼休みなど必要時以外および日中の窓際は業務に支障のない限り消灯を実施 ○半日単位での離席時はPCを原則オフにする。また、短時間離席・昼休み等はスタンバイモードの設定やフタ閉じを行う エ その他エネルギー削減に向けた取組 ○ガスコンロ、給湯器などの効率的な使用 ○ノー残業デー、ノーマイカーデーの実施 オ 用紙類の使用量削減に向けた取組 ○両面コピーや裏紙の有効活用、縮小機能の活用 ○会議資料等の簡略化およびプロジェクト等の活用 ○ステープラの使用を極力控える カ ごみの排出量削減に向けた取組 ○3Rの推進 ○事務所内のごみ箱を削減し、ごみ減量意識の醸成を図る ○マイバッグ・マイ箸・マイ水筒の持参 (3)市民サービス系部門における取組 市民サービス系部門における事務部門や施設の共用部分については基本的には事務系部門に準じた取組を行う ※学校・幼稚園・保育所における取組 ◇環境教育の推進 ◇環境に配慮した学校施設等の整備 ⇒CO2削減チャレンジチェックシートにより、自身の実施状況を毎月自己評価する	<環境配慮型公共建築物整備のガイドライン> (1)目的 公共施設の修繕・増改築・新築の際に配慮すべきことを明示し、建築物等の環境品質や環境性能の向上と、さらなる環境負荷の低減を図り、地域の自然環境と共生する持続可能な公共建築物等の整備を推進することを目指す。また、伊吹山や琵琶湖をはじめとする自然環境や気候特性、それらが育んできたまちなみや景観などの地域特性を生かした施設の創造を目的とする。 (2)重点取組項目 ①米原市の地域特性の活用 ○街道や集落などのまちなみ、琵琶湖や伊吹山などの自然景観といった米原らしい景観との調和 ○地域産の木材の積極的な活用 ○降雪量や風向き等の気候特性への配慮や地域の植生にあった植栽等 ②LED照明の積極的な導入など照明エネルギーの最小化 ③断熱性の高い材料や工法の採用、庇や中高木の植栽等で日射を遮る工夫 ④太陽光発電設備の導入や自然通風、自然採光など自然エネルギーの活用 ⑤自然材料の使用 ⑥障がいをお持ちの方や高齢の方などに関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン ⑦既存樹木等の保全・復元、敷地内緑化率の向上 ⑧アスファルトやコンクリートの抑制、透水性舗装など地下水の涵養 (3)推進項目 ①米原市の地域特性の活用 ○環境用水路やカワ、池をつくるなど自然の水の流れを取り入れたり、地下水の保全・涵(かん)養等「まいばらの水」の保全 ○市民等が気軽に利用できる憩いスペースの提供や自転車利用者への利便性向上等地域や環境への貢献を配慮 ②省エネ機器の導入、ゾーニング、水資源の有効活用等による省エネルギー ③エネルギー損失の低減を考慮した設備システム、無駄の少ない空調換気システムの採用による負荷の低減 ④再生可能エネルギー設備、木質バイオマスの利用推進等 ⑤エコマテリアルの採用(低環境負荷材料、リサイクル・リユース資源等) ⑥長寿命化 ○将来の施設内部機能の変化に対応可能なフレキシビリティ確保 ○非構造部材等の合理的耐久性や更新性を確保 ○維持管理が効率的・効果的に実施できるようなスペースを確保 ⑦資材の適正使用・廃棄物の適正処理 ⑧周辺自然環境への配慮 ○地形改変を抑制し、周辺自然環境への影響を最小限とする。 ○ビオトープの設置等生物の生息空間に配慮する。 

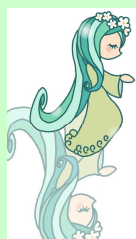


米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況

エネルギー使用量およびCO2総排出量の推移

	①H23年(基準年)		②H24年		③H25年		④H26年		H25年との比較	基準年との比較		
		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)			CO2増減量(t)	増減率
電気(kWh)	4,641,357.7	1,443.5	4,582,267.0	1,425.1	4,460,036.0	1,387.1	4,504,886.9	1,401.0	44,850.9	△ 136,470.8	△ 42.4	-2.9%
LPG(m³)	25,709.1	169.7	27,819.5	183.6	23,647.1	156.1	28,139.0	185.7	4,491.9	2,429.9	16.0	9.4%
灯油(ℓ)	173,430.6	431.8	215,661.2	537.0	189,736.4	472.4	180,254.2	448.8	△ 9,482.2	6,823.6	17.0	3.9%
ガソリン(ℓ)	58,537.8	135.8	61,087.3	141.7	60,096.1	139.4	59,438.5	137.9	△ 657.6	900.7	2.1	1.5%
軽油(ℓ)	26,528.2	68.4	25,434.2	65.6	19,666.2	50.7	21,972.2	56.7	2,306.1	△ 4,556.0	△ 11.8	-17.2%
事務用紙(枚)	6,040,945.0		6,289,738.0		5,783,938.0		5,974,325.0		190,387.0	△ 66,620.0		
ごみ排出量(kg)	6,034.5		6,972.2		8,162.3		16,338.5		8,176.2	10,304.0		
水道(m³)	97,330.8		92,077.5		91,968.0		96,326.0		4,358.0	△ 1,004.8		
CO2排出量合計		2,249.2		2,353.0		2,205.7		2,230.1	24.4		△ 19.1	-0.8%

環境審議会における評価結果	
1 エネルギー等使用状況 ■事務用紙使用枚数 ・基準年比で約67,000枚減、H25実績比約190,000枚増。 ・増加要因として、新規事業やイベントの増加、各種計画の策定・見直し、工事仕様書、紙ベースでの文書保存等多々ある。 ・改善策として、報告書等の用紙サイズを例年使用しているものから縮小することで、使用枚数の削減にはつながらないが、使用重量の削減を図った所属もある。このように、日頃の業務において事務用紙の効率的かつ必要最低限の使用となるような見直しを図るとともに、ペーパーレス化を図れる仕組みを検討していく必要がある。 ■可燃ごみ ・基準年比約10,000kg増、H25実績比約8,000kg増。 ・事務所整理や保存年限の過ぎた文書の廃棄などにより増加した。不要なもの、保管書類を処分することで、事務所スペースの有効活用にもつながるが、最初からごみになるものをつくらない、買わないなど、ごみそのものを発生させない取組が必要である。 ■公用車燃料 ・ガソリン:基準年比で約900ℓ増、H25実績比約660ℓ増。 ・軽油:基準年比で約4,600ℓ減、H25実績比約2,300ℓ増。 ※バスの運用方法の変更により民間バスを使用時の燃料使用量は反映されていない。 ・職員が地域に出るためには公用車の利用はやむを得ない部分があるが、エコドライブや相乗り、公共交通機関利用の徹底等により、少しでも公用車燃料の削減につなげていく必要がある。 ■電気 ・基準年比約136,000kWh減、H25実績比約45,000kWh増。 (※かなん認定こども園での太陽光パネル設置による発電量(9～12月分の約22,000kWh)を削減量としてカウント。) ・4庁舎では削減が進んでいるが、教育施設で増加となっているところがある。 ・夏期等の省エネ対策を実施するようになってから4年が経過するが、不要箇所の消灯等、意識すればできる節電対策ができていない部署も多く見受けられ、モチベーションをいかに持続させ、意識を高めるかが重要である。 ・環境配慮型公共施設整備のガイドラインに基づき、新設の近江認定こども園、かなん認定こども園等に太陽光発電設備・天窓等を採用した。今後も継続して公共施設の新築・増改築の際には、ガイドラインに基づいた整備が必要である。 ■ガス ・基準年比約2,400m³増、H25実績比約4,500m³増。小学校でのガス空調機導入が主因。 ■灯油 ・基準年比約6,800ℓ増、H25実績比約9,500ℓ減。 ・ホールの使用頻度により左右される施設もある。空調運転やストーブ等の運用管理(全体空調時の個別ストーブ原則オフ)が十分ではない部分もあると思われる。 ■水道 ・基準年比約1,000m³減、H25実績比約4,400m³増。漏水が原因の施設がいくつかある。節水の意識を持つ必要がある。	2 研修実施状況 ■エコスタイル推進員向け研修(平成26年5月21日(水)) 【テーマ】環境問題の裏にあるもの 【講師】滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授 鵜飼修氏 ※H25の外部評価における「なぜ、取組を行う必要があるのか。また、環境問題の裏に何があるかについて、しっかり認識しなくてはならない」といった提言を受け、各所属における推進リーダー・推進員向け研修において、H25外部評価委員長を招いての研修会を開催した。 ■全職員向け研修(平成26年11月27日(木)) 【テーマ】ガソリンスタンドはまちのエコロジーステーション 自分の仕事をパラダイムシフトする 【講師】油藤商事株式会社 専務取締役 青山裕史氏 【研修を受けての感想等】 ・廃棄からものを考えるという視点変換を仕事に取り入れ幅を広げたい。 ・仕事は「気付き」と「動き」が大切であると改めて感じた。また、仕事を楽しむ気持ちも大切にしたいと思う。 ・今回のような民間企業の方の話を聞く機会は、公務員にとって貴重な研修であると思う。 ■部署別研修…平均実施回数2回 3 環境配慮に向けた取組項目 ※各課報告内容から抜粋 ■イベント開催時の環境配慮取組について ・天の川はたるまつり開催時に、ごみの分別回収、シャトルバス運行等によりCO2削減、環境負荷低減に努めた。 ・環境フォーラム2014開催時に、イベントから出るごみの削減を目指し、リユース食器の利用を導入した(米原市内のイベントでは初の試み) ・農林水産祭り開催時に、環境配慮(マイバッグの持参、ごみ分別の徹底)をPRしたところ、会場内で、多くの方に協力していただくことができた。 4 学校等における環境教育取組例 ・森林学習(大原小) ・ビワマスふ化実験(息長小) ・近隣河川での水質調査や水生生物調査(坂田小) ・山室湿原での観察会、ホタル学習(山東小) ・伊吹山登山において地域人材の指導のもと外来植物の除去作業を行った(伊吹山中) ・里山体験学習(柏原中) ・三島池の保全活動(大東中) 5 その他、取組状況全体に関する提言 実行計画における電気使用量からのCO2排出量(各年度の数値)を算定するにあたっては、エネルギー使用量の推移が見えるように、CO2排出係数を平成23年度の係数に基づくこととしているが、あえて年度ごとの係数を採用し、原発の停止に伴う排出係数の上昇という要因でCO2排出量が増えているということを知ることでもある。



平成 28(2016)年3月
米原市経済環境部環境保全課(伊吹庁舎)
〒521-0392 滋賀県米原市春照 490 番地1
TEL0749-58-2230 FAX0749-58-1630